

# 一般教育における「総合基礎科目」の役割

## —その5 まとめ—

永田照子，鈴木万里

### I. はじめに

大学教育において教養教育の重要性が唱えられている。専門の知識や技能の修得と同時に幅広い教養を身に付けることが、人間形成にとって欠くべからざるものであり、その場所として大学は大切な役割を担っている。

本学では平成5年度より教養・基礎科目に、一つの大きなテーマのもと、人文科学・社会科学・自然科学それぞれの視点から、またそれらの領域を超えた視点で論ずる「総合基礎科目」を設置した。さまざまな分野の講師を学外からも招いて、専門分野の問題を分かりやすく講義していただくことにより、学生自身が興味を有していない分野にも関心を持つようになることが期待できる。また一つのテーマに対していろいろな角度からの取り組み方のあることを学ぶ機会にもなる。

さらに、講師には、その分野を専門とするにいたった経緯や生き方にも触れていただいている。この「総合基礎科目」は1年次の前期に置かれているが、その時期に自分の将来に向けての生き方、勉学の方向性を考える機会を提供するという目的をも有している。

平成9年度からは本学周辺に在住する一般市民（以下社会人と表記する）参加の公開授業とし、地域住民との交流の場としての役割を担っているが、社会人と学生が机を並べて受講し、質問、意見交換の時間を持つことによって、相互理解の場、異世代間コミュニケーションの場として有意義であると思われる。

「総合基礎科目」の成果については、平成9年度より調査を実施し報告しているが<sup>1,2,3,4)</sup>、本報告では平成13年度・14年度の調査結果を中心にして、これまでの「総合基礎科目」の意義・成果、さらに社会人参加の意義などについてまとめて考察する。

## II. 平成 13 年度および 14 年度の「総合基礎科目」について

### 1. 平成 13 年度のテーマと各回の題目および講師

テーマは『新しい世紀を生きる』とした。21 世紀を迎えて今後も引き続き関心を集めるであろうと考えられる問題や話題を取りあげ、新しい世紀をいかに生きるべきかを考える一助としたい。

各回の題目：「現代に問いかける古典」

講師：今村みゆ子（本学教授）

：「親子間のコミュニケーション」

講師：渋谷昌三（目白大学教授）

：「レンズの向こうの仲間たち」

講師：星川ひろ子（絵本・写真作家）

：「消費生活と税金」

講師：狩野一久（本学教授）

：「家族と介護」

講師：小山明子（女優）

：「心と物と科学—だから学問は面白い—」

講師：安部明廣（本学工学部教授）

：「卒業後 10 年の私の歩みとこれから」

講師：富田早苗（本学第 6 期卒業生  
（株）日産自動車総合研究所所員）

：「現代の音楽事情」

講師：豊住竜志（昭和音楽大学専任講師）

：「アニメ制作の現場」

講師：木船園子（本学芸術学部助教授）

：「テレビ・インターネット・情報化社会」

講師：池田正之（NHK 放送文化研究所  
メディア経営主任研究員）

### 2. 平成 14 年度のテーマと各回の題目および講師

テーマは『人と暮らしと環境』とした。私たちの暮らしを取りまく身近なさまざまな問題を取りあげて種々な角度から考える。どのような問題を希望するかをアンケート調査し、それを参考に各回の題目を決定した。

各回の題目：「土地と伝承・文学・歴史—将軍実朝・隆寛律師のことなど—」

- 講師：今村みゆ子（本学教授）  
 ：「化粧文化から見た日本人の美意識」  
 講師：村澤博人（ポーラ文化研究所主任研究員）  
 ：「ダイエットとからだの健康」  
 講師：吉岡利忠（青森県立保健大学副学長・聖マリアンナ医科大学教授）  
 ：「卒業後の私の歩み―勤続15年目の話（就職、結婚、出産と育児）―」  
 講師：宮永悦子（電力中央研究所所員，本学第5期卒業生）  
 ：「子どもの健やかな育ちのために―児童虐待とその援助」  
 講師：四方燿子（情緒障害児短期治療施設・横浜いずみ学園講師）  
 ：「情報社会を読む―通信業界を中心に―」  
 講師：高美浩一（NTT 東日本東京支店営業部企画部門担当課長）  
 ：「犯罪者の行動分析とプロファイリング」  
 講師：渡邊和美（科学警察研究所防犯少年部環境研究室研究員）  
 ：「仕事も結婚も，そして楽しみも一肩の力を抜いて，自然体で生きる女性の時代―」  
 講師：三井加寿恵（本学教授）  
 ：「遺伝子に対する正確な理解は生命観をどのように変えるか」  
 講師：久原泰雄（本学芸術学部助教授）  
 ：「計算機が作った世界を体験する―バーチャルリアリティ」  
 講師：久米祐一郎（本学工学部教授）

講師はこれまで本学の専任教員の外，学外の各界で活躍中の人に依頼するようにしている。またその際，なるべく世代の異なる講師になるよう，また必ず一人は社会で活躍している本学の卒業生に依頼し，学生にとって身近な先輩の話として関心を持つことを期待している。

### 3. 「総合基礎科目」の進め方

初回にはオリエンテーションを，最終回にはレポートの書き方などのまとめを実施した。

各回の講義ごとの簡単なレポート（講義に対する感想・意見・講師への質問など）と期末のレポート（テーマに関連する問題を一つ取りあげ、関連する本を読んで講義と関連づけ、自分の考えを論述するもの）の提出を義務づけた。社会人には各回の講義ごとの簡単なレポートの提出をお願いした。

平成13年度の受講生は学生110名（科目等履修生・単位互換生2名を含む）、社会人90名、平成14年度は学生117名（同3名を含む）、社会人54名であった。社会人については約9割が女性、年齢構成については、50代が最も多く、次いで60代、40代、30代、70代の順であった。

### III. アンケート調査について

調査は受講生を対象に受講前と受講後の2回アンケート方式で行い、受講前の態度・意見、受講後の態度・意見、前後の変化について調べた。社会人の受講者には前もって受講前の調査用紙を郵送し、初回に提出していただいた。受講後の調査は別途受講後に懇談会を催し、アンケート調査とともに感想・意見を聞いた。

#### 1. 受講前の調査（付表1,2,5,6 受講前アンケート用紙参照）

調査項目は調査を平成9年に始めてから、基本的な項目（21世紀について持っている希望、不安、社会問題、情報社会についてなど）は年度間で比較検討し得るように変更しないで用いている。また、女性の生き方に関する項目も用いている。ただ、その年、社会的に問題になった事項が生じた場合はそれに関連する項目を入れている。またその年度のテーマに基づく各回の題目に対する関心度を調べている。社会人に対する調査項目も学生と基本的にはほぼ同じである。

#### 2. 受講後の調査（付表3,4,7,8 受講後アンケート用紙参照）

調査項目は、その年度のテーマに基づく各回の題目で関心を持った問題、受講後の認識・態度の変化、現代社会で最も重要なこと、などであるが、数項目は受講前と同じ項目にして、受講前後の変化を調べている。社会人参加に対する意見も求めている。社会人に対する調査には本学学生に対する感想などが加えられている。

## IV. 調査の結果について

### 1. 受講前の調査

#### 1) シリーズで関心のある題目について（表 1-1,1-2）

平成 13 年度においては、学生は「卒業後 10 年の私の歩みとこれから」に最も関心を示しており、「テレビ・インターネット・情報化社会」、「現代の音楽事情」と続いている。

一方、社会人は「介護と家族」に非常に高い関心が寄せられており、続いて「親子間のコミュニケーション」、「テレビ・インターネット・情報化社会」となっている。学生は自分たちの先輩である卒業生の話や身近な問題に関心がり、社会人は生き方や家族の問題により一層関心が強いことがわかる。

平成 14 年度においては、学生は「犯罪者の行動分析とプロファイリング」に最も関心が高く、「ダイエットとからだの健康」、「化粧文化から見た日本人の美意識」と続いている。

表 1-1 平成 13 年度のシリーズで関心を持っている題目(人数)

	学 生				社会人			
	1 位	2 位	3 位	加重評点*	1 位	2 位	3 位	加重評点*
卒業後 10 年の私の歩みとこれから	30	12	7	121	0	1	2	4
テレビ・インターネット・情報化社会	11	21	17	92	7	12	20	65
現代の音楽事情	15	15	14	89	2	1	6	14
レンズの向こうの仲間たち	9	8	12	55	4	5	5	27
アニメ制作の現場	8	8	14	54	2	0	7	13
介護と家族	8	9	6	48	23	18	15	120
親子間のコミュニケーション	5	10	11	46	15	14	4	77
消費生活と税金	2	5	4	20	9	10	11	58
現代に問いかける古典	4	1	2	16	7	5	2	33
心と物と化学—だから学問は面白い	1	1	1	6	9	11	5	54
合計	93	90	88	547	78	77	77	465

\*1 位を 3 点, 2 位を 2 点, 3 位を 1 点として加算した値

表 1-2 平成 14 年度のシリーズで関心を持っている題目(人数)

	学 生				社会人			
	1 位	2 位	3 位	加重評点	1 位	2 位	3 位	加重評点
犯罪者の行動分析と プロファイリング	22	13	15	107	5	6	5	32
ダイエットとからだの 健康	20	11	12	94	3	3	4	19
化粧文化から見た 日本人の美意識	12	18	11	83	4	4	4	24
子どもの健やかな育ち のために	6	10	11	49	6	6	4	34
卒業後の私の歩み	8	7	3	41	1	1	3	8
仕事も結婚も、そして 楽しみも	2	9	9	33	7	5	5	36
遺伝子に対する正確な 理解は生命観をどの ように変えるか	3	3	7	22	4	3	5	23
情報社会を読む	2	2	3	13	3	6	1	22
計算機が作った世界を 体験する	1	2	5	12	2	1	3	11
土地と伝承・文学・歴史	1	2	0	7	5	4	5	28
合計	77	77	76	461	40	39	39	237

社会人は「仕事も結婚も、そして楽しみも」が最も関心が高く、続いて「子どもの健やかな育ちのために」、「犯罪者の行動分析とプロファイリング」となっている。この年度においても前年度と同じ傾向、すなわち、学生は自分を取りまく身近な問題、社会人は生き方、家族の問題がキーワードであるようだ。しかし、これはある面で両者とも自分を取りまく身近な問題といえよう。

## 2) 21 世紀についての希望 (表 2)

「世界の平和」、「生活の豊かさ」、「環境の整備」は両年度、両者ともに高い希望である。平成 12 年度の調査でも同じ傾向であった。特に世界の平和は昨今の世界情勢から願わずにいられない問題であろう。両者で異なっていたのは、学生が「宇宙への進出」が高い一方で、社会人は「遺伝子治療」をあげていることである。若者の宇宙への夢と中高年の長寿への夢の違いであろうか。

表2 21世紀についての希望（3つまで回答可）

	学 生		社会人	
	平成 13 年(%)	平成 14 年(%)	平成 13 年(%)	平成 14 年(%)
世界の平和	45 (18.4)	40 (20.8)	35 (17.2)	26 (21.7)
生活の豊かさ	39 (15.9)	31 (16.1)	22 (10.8)	12 (10.0)
宇宙への進出	34 (13.9)	32 (16.7)	14 ( 6.9)	8 ( 6.7)
環境の整備	30 (12.2)	21 (10.9)	49 (24.0)	27 (22.5)
女性の地位の向上	28 (11.4)	12 ( 6.3)	22 (10.8)	9 ( 7.5)
国際交流の発展	25 (10.2)	23 (12.0)	18 ( 8.8)	11 ( 9.2)
科学技術の発達	18 ( 7.4)	14 ( 7.3)	10 ( 4.9)	7 ( 5.8)
遺伝子治療	17 ( 6.9)	12 ( 6.3)	27 (13.2)	17 (14.2)
開発途上国の発展	5 ( 2.0)	7 ( 3.6)	5 ( 2.5)	3 ( 2.5)
その他	4 ( 1.6)	0 ( 0.0)	2 ( 1.0)	0 ( 0.0)
延べ回答数	245	192	204	120

表3 21世紀についての不安（3つまで回答可）

	学 生		社会人	
	平成 13 年(%)	平成 14 年(%)	平成 13 年(%)	平成 14 年(%)
地震・災害	60 (22.6)	27 (12.3)	26 (11.5)	8 ( 6.3)
環境破壊	49 (18.4)	36 (16.4)	52 (23.0)	19 (15.0)
税金の負担増	48 (18.0)	19 ( 8.6)	23 (10.2)	89 ( 7.1)
戦争	32 (12.0)	32 (14.5)	10 ( 4.4)	12 ( 9.4)
エイズなどの伝染 病の蔓延	28 (10.5)	8 ( 3.6)	22 ( 9.7)	3 ( 2.4)
経済の行き詰まり	27 (10.2)	16 ( 7.3)	22 ( 9.7)	11 ( 8.7)
エネルギーの不足	9 ( 3.4)	15 ( 6.8)	15 ( 6.6)	4 ( 3.1)
社会保障の先細り	6 ( 2.3)	5 ( 2.3)	44 (19.5)	17 (13.4)
人口の増加	3 ( 1.1)	4 ( 1.8)	9 ( 4.0)	3 ( 2.4)
犯罪の凶悪化	--*( ---)	28 (12.7)	-- ( ---)	17 (13.4)
食品の安全性	-- ( ---)	14 ( 6.4)	-- ( ---)	17 (13.4)
テロ	-- ( ---)	13 ( 5.9)	-- ( ---)	6 ( 4.7)
その他	4 ( 1.5)	3 ( 1.4)	3 ( 1.3)	1 ( 0.8)
延べ回答数	266	220	226	127

\*該当項目の無いことを示す

### 3) 21世紀についての不安（表3）

平成 13 年度と 14 年度で項目数が異なっているので両年度間の比較は難しいが、「環境破壊」に対する不安が共通して高いことがわかる。そのほか、

「地震・災害」、「戦争」への不安がかなり高い。世界の平和を希望する者が多いことと関連している。平成 13 年度に両者が「税金の負担増」に強い不安を覗かせていたのは、マスコミで取りあげられることが多かったからであろうか。また、平成 14 年度では学生、社会人ともにエイズの問題よりも「犯罪の凶悪化」に不安が多いのは、これまたマスコミによる情報量の違いの影響かもしれない。社会人にとっては「社会保障の先細り」への懸念は切実な問題であろう。

#### 4) 社会問題への関心 (表 4)

学生にとっても社会人にとっても関心の高いのは「幼児（児童）虐待」の問題である。ここ数年虐待の件数が急増している（四方氏の話）ことから、頷ける。次に共通して高いものは「景気」の問題であり、昨今の経済不況を考えると当然であろう。学生に関心の高いのは平成 13 年度で「ファッション」、14 年度では「セクハラ」である。社会人に関心の高いものは「介護保険」であった。

表 4 社会問題への関心 (3 つまで回答可)

	学 生		社会人	
	平成 13 年(%)	平成 14 年(%)	平成 13 年(%)	平成 14 年(%)
幼児(児童)虐待	66 (26.4)	37 (18.3)	38 (18.0)	14 (11.5)
ファッション	46 (18.4)	6 ( 3.0)	7 ( 3.3)	5 ( 4.1)
景気	32 (12.8)	31 (15.3)	35 (16.6)	21 (17.2)
セクハラ	20 ( 8.0)	40 (19.8)	3 ( 1.4)	1 ( 0.8)
引きこもり	19 ( 7.6)	13 ( 6.4)	17 ( 8.1)	11 ( 9.0)
異文化の交流	18 ( 7.2)	23 (11.4)	13 ( 6.2)	6 ( 4.9)
難民	16 ( 6.4)	11 ( 5.4)	6 ( 2.8)	2 ( 1.6)
介護保険	14 ( 5.6)	6 ( 3.0)	43 (20.4)	19 (15.6)
少子化現象	8 ( 3.2)	9 ( 4.5)	26 (12.3)	13 (10.7)
ホームレス	4 ( 1.6)	1 ( 0.5)	9 ( 4.3)	5 ( 4.1)
経済摩擦	4 ( 1.6)	5 ( 2.5)	14 ( 6.6)	10 ( 8.2)
遺伝子操作	-- ( ---)	13 ( 6.4)	-- ( ---)	11 ( 9.0)
摂食障害	-- ( ---)	6 ( 3.0)	-- ( ---)	2 ( 1.6)
その他	3 ( 1.2)	1 ( 0.5)	0 ( 0.0)	2 ( 1.6)
述べ回答数	250	202	211	122



### 5) 情報社会への関心 (表 5)

学生，社会人に共通して両年度ともに高かったものは，「インターネット」，「パソコン通信」，「テレビ電話」であった。平成 14 年度に「携帯電話」の項目を設けると，学生にとっては高い関心となったが，一方，社会人にとっては大きな関心とはなっていないことが注目されることである。受講の社会人の年齢層が高い（50 代，60 代が多い）ことがそれほど，関心を惹きつけない理由と思われる。

### 6) 母親（最も身近な女性）の状況 (表 6)

両年度ともに「パートで仕事」，「フルタイムで仕事」，「家事中心」の順であるが，この傾向はここ 3 年間変わっていない。

### 7) 将来の生き方 (表 7-1, 7-2)

フルタイムであれ，パートタイムであれ，仕事にずっと関わっていきたいとする学生は平成 13 年度 86%，平成 14 年度 88.6% である。平成 11 年度

表 5 情報社会への関心 (3 つまで回答可)

	学 生		社会人	
	平成 13 年(%)	平成 14 年(%)	平成 13 年(%)	平成 14 年(%)
インターネット	77 (32.0)	57 (23.3)	55 (29.6)	27 (25.7)
パソコン通信	36 (14.9)	30 (12.2)	38 (20.4)	14 (13.3)
テレビ電話	34 (14.1)	24 ( 9.8)	36 (19.4)	22 (21.0)
コンピューターで 絵を描く	25 (10.4)	17 ( 6.9)	9 ( 4.8)	5 ( 4.8)
コンピューターに よる作曲・演奏	25 (10.4)	12 ( 4.9)	8 ( 4.3)	4 ( 3.8)
動画(アニメ・映画)の作成	23 ( 9.5)	25 (10.2)	5 ( 2.7)	2 ( 1.9)
電子マネー	12 ( 5.0)	10 ( 4.1)	19 (10.2)	6 ( 5.7)
電子出版(編集・ 出版など)	6 ( 2.5)	8 ( 3.3)	16 ( 8.6)	10 ( 9.5)
バーチャルリアリ ティ	-- ( ---)	17 ( 6.9)	-- ( ---)	7 ( 6.7)
携帯電話	-- ( ---)	45 (18.4)	-- ( ---)	4 ( 3.8)
その他	3 ( 1.2)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	4 ( 3.8)
延べ回答数	241	245	186	105

表 6 母親(最も身近な女性)の状況

	平成 13 年 人数(%)	平成 14 年 人数(%)
パートで仕事	37 (39.8)	34 (44.7)
フルタイムで仕事	27 (29.0)	18 (23.7)
家事中心	23 (24.7)	15 (19.7)
趣味を楽しむ	4 ( 4.3)	4 ( 5.3)
生涯学習	1 ( 1.1)	1 ( 1.3)
ボランティアで活躍	1 ( 1.1)	1 ( 1.3)
その他	0 ( 0.0)	3 ( 3.9)
合計	93	76

表 7-1 将来の生き方 (平成 13 年度)

項 目	受講前 (%)	受講後 (%)
育児から手が離れたらパートタイムの仕事に就きたい	44 (47.3)	79 (56.0)
育児から手が離れたら再びフルタイムの仕事に就きたい	21 (22.6)	24 (17.0)
結婚・出産に関わらず仕事を続ける	15 (16.1)	17 (12.1)
結婚したら仕事はずっと辞める	7 ( 7.5)	6 ( 4.3)
結婚後、出産したら仕事はずっと辞める	3 ( 3.2)	5 ( 3.5)
結婚・出産に関わりなく仕事には就きたくない	0 ( 0.0)	2 ( 1.4)
その他	3 ( 3.2)	8 ( 5.7)
合計	93	141

表 7-2 将来の生き方 (平成 14 年度)

項 目	受講前 (%)	受講後 (%)
育児から手が離れたらパートタイムの仕事に就きたい	38 (48.1)	35 (34.3)
育児から手が離れたら再びフルタイムの仕事に就きたい	17 (21.5)	30 (29.4)
結婚・出産に関わらず仕事を続ける	15 (19.0)	18 (17.6)
結婚後、出産したら仕事はずっと辞める	4 ( 5.1)	5 ( 4.9)
結婚したら仕事はずっと辞める	3 ( 3.8)	4 ( 3.9)
結婚・出産に関わりなく仕事には就きたくない	0 ( 0.0)	2 ( 2.0)
その他	2 ( 2.5)	8 ( 7.8)
合計	79	102

が 69.9%，平成 12 年度が 82.2% であり，年毎に増加している。また，フルタイムで仕事を続けたい（育児で一時中断しても）と考えている学生が平成 11 年度から平成 14 年度にかけて，21.5%，24.7%，38.7%，40.5% と増加し続けている。これは経済不況による家庭の経済的状況の影響も考えられるが，学生自身の生き方が仕事に関わって生きていきたいとする意欲の増大ではないかと考えられる。それは，これまでの総合基礎科目のなかで，講師の生きざまを見，また平成 13 年度から始まった「基礎ゼミ」<sup>5)</sup> 受講の結果の表われとも思われる。

受講後の変化については後で述べる。

# 8) 心を豊かにしてくれているものについて(平成 13 年度)(表 8-1)と暮らしの中で最も大切にしているものについて(平成 14 年度)(表 8-2)

心を豊かにしてくれているものは，学生においては，「友人」，「家族」，「恋人」，時間の順，社会人においては，「家族」，「友人」，「時間」，「読書」

表 8-1 心を豊かにしてくれているもの（3 つまで回答可）  
(平成 13 年度)

	学 生		社会人
	受講前 (%)	受講後 (%)	受講前 (%)
友人	73 (27.4)	58 (22.5)	28 (16.2)
家族	47 (17.7)	40 (15.5)	47 (27.2)
恋人	31 (11.7)	43 (16.7)	2 ( 1.2)
時間	27 (10.2)	26 (10.1)	20 (11.6)
趣味	25 ( 9.4)	28 (10.9)	9 ( 5.2)
お金	22 ( 8.3)	30 (11.6)	13 ( 7.5)
音楽	19 ( 7.1)	17 ( 6.6)	2 ( 1.2)
スポーツ	8 ( 3.0)	4 ( 1.6)	6 ( 3.5)
美術工芸	5 ( 1.9)	2 ( 0.8)	7 ( 4.0)
読書	4 ( 1.5)	2 ( 0.8)	17 ( 9.8)
勉学	1 ( 0.4)	1 ( 0.4)	8 ( 4.6)
先生	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
仕事	0 ( 0.0)	5 ( 1.9)	4 ( 2.3)
信仰	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	3 ( 1.7)
ボランティア	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	3 ( 1.7)
その他	4 ( 1.5)	2 ( 0.8)	4 ( 2.3)
述べ回答数	266	258	173

表 8-2 暮らしの中で最も大切にしているもの

(3 つまで回答可)

(平成 14 年度)

	学 生		社会人
	受講前 (%)	受講後 (%)	受講前 (%)
友人	62 (27.3)	75 (26.1)	9 ( 7.3)
家族	46 (20.3)	56 (19.5)	34 (27.4)
お金	37 (16.3)	37 (12.9)	19 (15.3)
時間	23 (10.1)	37 (12.9)	20 (16.1)
趣味	20 ( 8.8)	26 ( 9.1)	17 (13.7)
恋人	17 ( 7.5)	18 ( 6.3)	1 ( 0.8)
音楽	9 ( 4.0)	11 ( 3.8)	2 ( 1.6)
仕事	3 ( 1.3)	7 ( 2.4)	1 ( 0.8)
勉学	3 ( 1.3)	5 ( 1.7)	2 ( 1.6)
読書	2 ( 0.9)	5 ( 1.7)	6 ( 4.8)
美術工芸	2 ( 0.9)	2 ( 0.7)	0 ( 0.0)
信仰	1 ( 0.4)	2 ( 0.7)	3 ( 2.4)
ボランティア	1 ( 0.4)	2 ( 0.7)	3 ( 2.4)
先生	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
スポーツ	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	2 ( 1.6)
その他	1 ( 0.4)	4 ( 1.4)	5 ( 4.0)
述べ回答数	227	287	124

の順であった。両者で異なっていたのは、「恋人」、「音楽」、「読書」、「趣味」で、学生は友人を中心とする人間関係と音楽・趣味に心の豊かさを求め、社会人は家族を中心とする人間関係と自分自身を高める読書に心の豊かさを求めている。両者ともに家族を心の豊かさの拠りどころにしているのが注目される。

暮らしの中で最も大切にしているものは、学生においては「友人」、「家族」、「お金」、「時間」の順、社会人においては「家族」、「時間」、「お金」、「趣味」の順となった。大切にしているものが学生において友人、家族を中心とした人間関係とお金と時間、社会人において家族を中心とした人間関係と時間、お金、趣味であり、昨年度の調査項目の「心を豊かにしてくれているもの」と類似した結果となっているが、学生の場合、「心を豊かにしてくれもの」においてよりも「恋人」が「最も大切にしているもの」において順位を下げているのが興味深い。また、大切なものとしてお金の順位が上がっており、やはり経済的基盤は重要ということであろうか。

## 2. 受講後の調査について

### 1) 平成 13 年度のシリーズで受講後関心を持った題目（表 9-1, 9-2）

学生は「現代の音楽事情」に最も関心があつまり、次いで「レンズの向こうの仲間たち」、「介護と家族」と続いた。一方、社会人は「介護と家族」が最も関心が高く、次いで「現代に問いかける古典」、「親子間のコミュニケーション」であった。学生において受講前は「卒業後 10 年の私の歩みとこれから」が最も関心が高かったが、受講後において、それにもまして上述の 3 つのテーマに関心が集まったのは、「現代の音楽事情」では講師の生演奏あり、学生に馴染みのある曲が CD で流されたりと興味をそそられるものであったし、「レンズの向こうの仲間たち」では講師自身の子どものとの触れ合い、絵本・写真を見せながらの解説は实际的で分かりやすく、「介護と家族」は講師である有名女優自身の生きざまと介護の経験談は聴く人を惹きつけた。卒業生の話は受講直後のレポートでは「とても参考になった」、「自分も頑張ろうと思った」という感想が多く寄せられていた。この調査の場合のように関心度を順位づけるのではなく、尺度で回答する方法や、100 点満点で評価する方法、あるいは満足度を同様な方法で調べることも必要であったと

表 9-1 平成 13 年度のシリーズで受講後関心を持った題目

	学 生				社会人			
	1 位	2 位	3 位	加重評点	1 位	2 位	3 位	加重評点
現代の音楽事情	25	18	17	128	1	5	8	21
レンズの向こうの仲間たち	24	16	11	115	4	4	4	24
介護と家族	17	11	15	88	10	15	7	67
親子間のコミュニケーション	7	16	13	66	8	8	3	43
卒業後 10 年の歩みとこれから	8	8	10	50	0	1	5	7
アニメ制作の現場	4	9	6	36	0	1	3	5
現代に問いかける古典	2	5	8	24	17	4	4	63
テレビ・インターネット・情報化社会	1	1	1	6	1	0	4	7
消費生活と税金	0	1	1	3	1	3	3	12
心と物と化学—だから学問は面白い	0	1	1	3	1	2	1	8
合計	88	86	83	519	43	43	42	257

表 9-2 平成 13 年度のシリーズで関心を持った題目の受講前と受講後の  
1 位の比較

	学 生		社会人	
	受講前(%)	受講後(%)	受講前(%)	受講後(%)
卒業後 10 年の私の歩みとこれから	30 (32.3)	8 ( 9.1)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)
テレビ・インターネット・情報化社会	11 (11.8)	1 ( 1.1)	7 ( 9.0)	1 ( 2.3)
現代の音楽事情	15 (16.1)	25 (28.4)	2 ( 2.6)	1 ( 2.3)
レンズの向こうの仲間たち	9 ( 9.7)	24 (27.3)	4 ( 5.1)	4 ( 9.3)
アニメ制作の現場	8 ( 8.6)	4 ( 4.5)	2 ( 2.6)	0 ( 0.0)
介護と家族	8 ( 8.6)	17 (19.3)	23 (29.5)	10 (23.3)
親子間のコミュニケーション	5 ( 5.4)	7 ( 8.0)	15 (19.2)	8 (18.6)
消費生活と税金	2 ( 2.2)	0 ( 0.0)	9 (11.5)	1 ( 2.3)
現代の問いかける古典	4 ( 4.3)	2 ( 2.3)	7 ( 9.0)	17 (39.5)
心と物と化学—だから学問は面白い	1 ( 1.1)	0 ( 0.0)	9 (11.5)	1 ( 2.3)
合計	93	88	78	43

思われる。社会人においては「介護と家族」が受講前・後ともに高く、介護とそれにあたる家族の問題は身近な切実なものであると同時に自分たちと同世代の有名女優である講師の生き方に高い関心が集まったのであろう。そのほか、社会人においては「現代に問いかける古典」が受講後高い関心を惹き起こしている。とっつきにくいと考えられがちな古典を現代との係わりでとらえた分かりやすい講義は直後の感想でも、「こんなに古典が面白いものとは思わなかった」、「来年も聴きたい」というものが多かった。「親子間のコミュニケーション」は現在子どもとどう向き合っていくかについて問題を抱えている年代の社会人にとって、講義も具体的で分かりやすく関心を集めた。

## 2) 平成 14 年度のシリーズで受講後関心を持った題目 (表 9-3, 9-4)

学生は「子どもの健やかな育ちのために」が最も多く、「卒業後の私の歩み」、「ダイエットとからだの健康」、「犯罪者の行動分析とプロファイリング」と続いた。社会人は「土地と伝承・文学・歴史」が最も多く、次いで「子どもの健やかな育ちのために」、「仕事も、結婚も、そして楽しみも」であった。子どもの健やかな育ちのために、すなわち児童虐待の問題におい

表 9-3 平成 14 年度のシリーズで受講後関心を持った題目

	学 生				社会人			
	1 位	2 位	3 位	加重評点	1 位	2 位	3 位	加重評点
子どもの健やかな育ちのために	15	16	12	89	6	4	2	28
卒業後の私の歩み	21	7	9	86	1	2	1	8
ダイエットとからだの健康	10	15	9	69	2	0	1	7
犯罪者の行動分析とプロファイリング	12	12	9	69	0	4	3	11
計算機が作った世界を体験する	12	9	8	62	2	1	3	11
化粧文化から見た日本人の美意識	7	7	11	46	2	2	1	11
仕事も結婚も、そして楽しみも	6	6	11	41	0	6	5	17
情報社会を読む	2	8	7	29	0	0	1	1
遺伝子に対する正確な理解は生命観をどのように変えるか	3	5	6	25	1	4	3	14
土地と伝承・文学・歴史	1	1	3	8	10	1	4	36
合計	89	86	85	524	43	43	42	257

表 9-4 平成 14 年度のシリーズで関心を持った題目の受講前と受講後の 1 位の比較

	学 生		社会人	
	受講前(%)	受講後(%)	受講前(%)	受講後(%)
犯罪者の行動分析とプロファイリング	22 (28.6)	12 (13.5)	5 (12.5)	0 ( 0.0)
ダイエットとからだの健康	20 (26.0)	10 (11.2)	3 ( 7.5)	2 ( 8.3)
化粧文化から見た日本人の美意識	12 (15.6)	7 ( 7.9)	4 (10.0)	2 ( 8.3)
子どもの健やかな育ちのために	6 ( 7.8)	15 (16.9)	6 (15.0)	6 (25.0)
卒業後の私の歩み	8 (10.4)	21 (23.6)	1 ( 2.5)	1 ( 4.2)
仕事も結婚も、そして楽しみも	2 ( 2.6)	6 ( 6.7)	7 (17.5)	0 ( 0.0)
遺伝子に対する正確な理解は生命観をどのように変えるか	3 ( 3.9)	3 ( 3.4)	4 (10.0)	1 ( 4.2)
情報社会を読む	2 ( 2.6)	2 ( 2.2)	3 ( 7.5)	0 ( 0.0)
計算機が作った世界を体験する	1 ( 1.3)	12 (13.5)	2 ( 5.0)	2 ( 8.3)
土地と伝承・文学・歴史	1 ( 1.3)	1 ( 1.1)	5 (12.5)	10 (41.7)
合計	77	89	40	24

て、虐待数の増加の資料による説明や施設での子どもの実態の解説は、学生にとっても社会人にとっても高い関心を引き起こした。卒業生の話への関心の高さは例年通りであるが、14年度は就職活動や職場でのより具体的な経験談が関心を集めたように思われる。社会人において受講後「土地と伝承・文学・歴史」に最も関心が寄せられたのは、地元の厚木における伝承・文学・歴史にまつわるものであっただけに当然といえるであろう。講義後も熱心な質問が相次ぎ、活発な質疑応答がなされた。

平成13年度においても、14年度においても全般的に関心を集めたのは、抽象的な内容よりも具体的で身近な内容のものといえるようである。しかし、題としては取っ付きにくく地味であるが、受講後一部の受講者には強い関心を持たれたものも数は少ないが認められた。

### 3) 現代社会で最も重要なこと (表10)

両年度において、学生にとっても社会人にとっても「人間関係」、「家庭のあり方」が重要と受けとめられている。これは平成11,12年度の調査結果と同じ傾向である。親子間の殺人、学校でのいじめによる殺人、出会い系サ

表10 現代社会で最も重要なこと

	学 生		社会人	
	平成13年(%)	平成14年(%)	平成13年(%)	平成14年(%)
人間関係	23 (24.7)	22 (21.8)	8 (20.0)	4 (19.0)
家庭のあり方	15 (16.1)	17 (16.8)	10 (25.0)	5 (23.8)
心の癒し	15 (16.1)	10 (9.9)	6 (15.0)	0 (0.0)
環境の整備	14 (15.1)	18 (17.8)	2 (5.0)	2 (9.5)
経済の動向	11 (11.8)	12 (11.9)	5 (12.5)	3 (14.3)
国際政治的問題 (民族紛争・難民など)	6 (6.5)	6 (5.9)	2 (5.0)	1 (4.8)
福祉	3 (3.2)	4 (4.0)	1 (2.5)	0 (0.0)
エネルギー問題	2 (2.2)	0 (0.0)	2 (5.0)	1 (4.8)
情報化社会	1 (1.1)	4 (4.0)	2 (5.0)	0 (0.0)
異文化交流	1 (1.1)	2 (2.0)	0 (0.0)	2 (9.5)
食糧の自給・安全性	1 (1.1)	0 (0.0)	1 (2.5)	3 (14.3)
その他	1 (1.1)	6 (5.9)	1 (2.5)	0 (0.0)
回答数合計	93	101	40	21



イトに基づく殺人、あるいは児童（幼児）虐待のニュースなどが後を絶たない現代の状況において、人間関係、家庭の重要性が両者にしっかりと捉えられているのは当然であろう。また同時にわれわれが住む環境の整備と精神的な癒しの重要性も問われている。

以上のことは、受講前の調査項目（21世紀についての希望・不安，社会問題への関心）の結果とも符合するものである。

### 3. 受講前と受講後の認識・態度の変化について

#### 1) 平成 13 年度受講後の認識・態度の変化について（表 11-1）

12 項目について、「変わった」から「変わらない」まで 5 段階評価と同時に簡単な理由の記述を求めた。また 5 段階評価について「変わらない」1 点、「あまり変わらない」2 点、「どちらともいえない」3 点、「少し変わった」4 点、「変わった」5 点として加重平均値を算出した。

「障害を持った人への意識」、「これからの生き方について」、「女性の働く現場について」、「現代の音楽について」，が変化の見られた項目といえよう。卒業生をはじめとしていずれも講師の経験に基づく説得力ある、しかも学生にとって身近な問題がこれらの変化をもたらしたといえよう。

逆に変わらないものとして、「化学に対する考え方」、「税金に対する考え方」であった。化学、税金に対する関心の低さと内容がやや難しいものであったことも一因かと思われる。

#### 2) 平成 14 年度受講後の認識・態度の変化について（表 11-2）

平成 13 年度と同様に加重平均値を算出した。

「女性の働く現場について」、「バーチャルリアリティについて」、「女性の生き方について」、「犯罪者の行動分析について」，が変化の多く見られた項目である。前年度と同じく「女性の生き方について」、「女性の働く現場について」とともに「バーチャルリアリティ」や「犯罪者の行動分析について」の理解が認識・態度の変化をもたらしたといえよう。

変わらないものとしては「土地と伝承・文学・歴史に対する考え方」であったが、この問題は学生にとって関心が低いことが原因であろう。しかし数は少ないが、「毎日通学している道中でこのような歴史的背景が隠されていたとは驚きであった」、「自分の住んでいる場所についても関心をもった」，など貴重な感想が見られた。

表 11-1 平成 13 年度受講後の認識・態度の変化 (学生)

	変わらない (1)	あまり変わらない (2)	どちらとも いえない (3)	少し変わった (4)	変わった (5)	加重 平均値*
古典文学に対する考え方 人数(N=94)** (%)	22 (23.4)	8 ( 8.5)	36 (38.3)	17 (18.1)	11 (11.7)	2.86
家族のあり方 人数(N=91) (%)	18 (19.8)	6 ( 6.6)	12 (13.2)	27 (29.7)	28 (30.8)	3.45
女性の働く現場について 人数(N=95) (%)	11 (11.6)	3 ( 3.2)	30 (31.6)	24 (25.3)	27 (28.4)	3.56
現代の音楽について 人数(N=92) (%)	8 ( 8.7)	8 ( 8.7)	26 (28.3)	26 (28.3)	24 (26.1)	3.54
化学に対する考え方 人数(N=93) (%)	58 (62.4)	10 (10.8)	20 (21.5)	2 ( 2.2)	3 ( 3.3)	17.3
税金に対する考え方 人数(N=91) (%)	25 (27.5)	20 (22.0)	32 (35.2)	10 (11.0)	4 ( 4.4)	2.43
親子関係について 人数(N=93) (%)	17 (18.3)	9 ( 9.7)	17 (18.3)	18 (19.4)	32 (34.4)	3.42
アニメ制作について 人数(N=93) (%)	16 (17.2)	8 ( 8.6)	24 (25.8)	24 (28.8)	21 (22.6)	3.28
テレビのあり方について 人数(N=87) (%)	20 (23.0)	8 ( 9.2)	39 (44.8)	15 (17.2)	5 ( 5.7)	2.74
障害を持った人への意識 人数(N=94) (%)	12 (12.8)	3 ( 3.2)	17 (18.1)	22 (23.4)	40 (42.6)	3.80
情報化社会について 人数(N=90) (%)	15 (16.7)	8 ( 8.9)	31 (34.4)	21 (23.3)	15 (16.7)	3.14
これからの生き方について 人数(N=92) (%)	10 (10.9)	3 ( 3.3)	23 (25.0)	19 (20.7)	37 (40.2)	3.76

\*変わらない 1 点, あまり変わらない 2 点, どちらともいえない 3 点, 少し変わった 4 点, 変わった 5 点として算出した値

\*\*N=人数の合計が項目によって異なるのは無回答を除いているためである。

表 11-2 平成 14 年度受講後の認識・態度の変化（学生）

	変わらない (1)	あまり変わらない (2)	どちらとも いえない (3)	少し変わった (4)	変わった (5)	加重 平均値
土地と伝承・文学・歴史に 対する考え方 人数(N=99) (%)	23 (23.2)	7 ( 7.1)	38 (38.4)	19 (19.2)	12 (12.1)	2.90
化粧文化と美意識について 人数(N=96) (%)	11 (11.5)	3 ( 3.1)	31 (32.3)	31 (32.3)	20 (20.8)	3.48
女性の働く現場について 人数(N=101) (%)	5 ( 5.0)	2 ( 2.0)	27 (26.7)	29 (28.7)	38 (37.6)	3.92
ダイエットに対する考え方 人数(N=97) (%)	14 (14.4)	5 ( 5.2)	31 (32.0)	23 (23.7)	24 (24.7)	3.39
児童虐待について 人数(N=97) (%)	13 (13.4)	2 ( 2.1)	22 (22.7)	29 (29.9)	31 (32.0)	3.65
親子関係について 人数(N=95) (%)	19 (20.0)	5 ( 5.3)	40 (42.1)	20 (21.1)	11 (11.6)	2.99
女性の生き方について 人数(N=99) (%)	8 ( 8.1)	3 ( 3.0)	25 (25.3)	31 (31.3)	32 (32.3)	3.77
生命観について 人数(N=95) (%)	16 (16.8)	5 ( 5.3)	50 (52.6)	14 (14.7)	10 (10.5)	2.97
遺伝子操作について 人数(N=97) (%)	25 (25.8)	6 ( 6.2)	36 (37.1)	13 (13.4)	17 (17.5)	2.91
情報化社会についての考え 方 人数(N=98) (%)	7 ( 7.1)	3 ( 3.1)	42 (42.9)	19 (19.4)	27 (27.6)	3.57
犯罪者の行動分析について 人数(N=100) (%)	7 ( 7.0)	4 ( 4.0)	25 (25.0)	34 (34.0)	30 (30.0)	3.76
バーチャルリアリティにつ いて 人数(N=98) (%)	5 ( 5.1)	2 ( 2.0)	24 (24.5)	38 (38.8)	29 (29.6)	3.86

### 3) 将来の生き方の受講前と受講後の変化について（表 7-1, 7-2）

平成 13 年度においては受講前より受講後に「育児後パートタイムの仕事に就きたい」の割合が若干増加していたが、平成 14 年度においては逆に「育児後フルタイムの仕事に就きたい」の割合が少し増加している。

### 4) 心を豊かにしてくれているものについて（表 8-1）と暮らしの中で最も大切にしているものについて（表 8-2）

いずれにおいても受講前後の変化はみられなかった。

## V. 講義レポートおよび期末レポートについて

### 1. 講義レポートについて

各回の講義ごとに感想・意見・質問などのレポートを提出させた。この意図は講義をしっかりと聴くこと、そして講義を自分なりに咀嚼して理解できた点と疑問点、質問点を明らかにして文章に表現することであった。おぼろげなレポートももちろんあったが、ほとんどの学生はいずれの回の講義も自分なりに受け止め理解しようと努めていた。受講前には関心のなかった分野の講義を聴いて、意外に面白かった、こんなに面白いとは知らなかった、難しい事柄であるし自分に関係のない世界のことと思っていたが、身近な問題であることが分かった、などと感想を書いている学生が少なからず存在した。これこそ総合基礎科目の目的としていることの一つである。

また、いずれの講師にも講義の中でそれぞれ専門の道に進んだ経緯を話していただくように依頼していたので、生き方についての感想も多く見られた。

なお、社会人にも講義レポートの提出を求めたが、詳しく感想や講師への質問・提言が述べられていた。

レポートに存在する質問については後刻各講師から回答をいただいている。

### 2. 期末レポートについて

10 回のシリーズの中から最も関心のあった題目を選び、各講師よりあげていただいた 2, 3 冊の参考書から 1 冊、あるいは自分で選んだ題目に関連する本を 1 冊読んで、講師の講義、本の内容の概略、自分の考えを論述するものであった。活字離れの傾向にある学生に本に接する機会を与える意図もあった。

平成 13 年度に取りあげられた題目は「レンズの向こうの仲間たち」が最

も多く、次いで「介護と家族」、「親子間のコミュニケーション」の順であった。

平成14年度では、「子どもの健やかな育ちのために」が最も多く、次いで「仕事も結婚も、そして楽しみも」であった。

取りあげられた題目は関心があったものという以外にレポートとして書きやすいものという要因も含まれていたことは否めない。

なお、社会人には期末レポートの提出は求めている。

### 3. 講義レポート、期末レポートの評価について

各回の講義レポートはA（優れている）、B（普通）、C（もう少し頑張ろう）の3段階で評価をしたが、評価の視点は講義への関心・興味、理解度、自分の意見・質問、文章表現についてであった。

期末レポートは講師の講義内容についての理解の深さ、参考文献として読んだ本の理解度、取りあげ方、講師の話と文献の関連性、学生自体の考え、レポートの書き方などを基に5段階で評価を行なった。レポートの書き方、すなわち、全体の構成、論点のまとめ方、文献の引用の仕方、講師の意見・参考文献の主張・それらに対する自分の意見がそれぞれ明確に分かるように論ずること、事実と意見をはっきり区別すること、誤字・脱字に注意することなど、を最後のまとめの授業で指導をした。これは授業と直接関わりがないが、以後の短大生活や社会生活において重要と考えられるので、評価の対象の一部とした。

講義レポートは1週間後には提出するものであり、講義内容を整理し理解するのに役立ったと思われる。レポートといっても感想の部分が多かったが、気づかなかった問題に関心を持った、新しい知識が得られた、講師の生き方に感動した、あるいは自分との関わりについてなどの記述が見られた。

一方、期末レポートは関心を持った問題について自分なりにじっくり取り組む姿勢が見られた。講師の講義内容、参考文献についての自分の意見が述べてあり、今後こんなことをさらに勉強したい、調べたい、こんな風に頑張りたい、こんな生き方をしたい、といった記述の中に意欲が感じられた。なかには講師の話のこんな点が自分としては疑問が残る、といった問題の提起も若干存在した。

なお、「総合基礎科目」としての評価は、期末レポートを主に、講義レポート、出席点を加味して行なった。

## VI. 社会人の参加について

平成9年度より「総合基礎科目」を公開授業としてから今年度までに延べ342名の参加があった。一昨年からは男性の参加も見られ、約1割を占めている。年齢構成は前にも述べたが、女性は50代が最も多く参加者の約5割を占め、次いで60代、40代、30代、70代となっている。男性は60代がほとんどである。公開授業とした年から毎年参加という人も数人あり、初年度からではないにしても続けて参加という人も多く存在した。

参加の動機は、若い時代に勉強の機会が持てなかったから、あるいはいつまでもさまざまな問題に興味を持って勉強したいから、などであった。

具体的に、「今、取り組んでみたいもの、学んでみたいもの（表12）」として、平成13年度・14年度とも、「年齢や体力に応じた適切な運動」が最も多く、次いで「海外旅行や留学生を迎えるのに必要な英会話」、「コンピュータやワープロで文書作成」の順となっている。平成13年度より、本学の一部の科目を科目等履修生として一般の人を受け入れる体制を設けたところ、教養科目のほか、外国語科目にも希望者が出たことは上述の結果の反映と考えられる（コンピュータ、ワープロの科目は台数の制限があり受け入れていない）。

社会人は非常に熱心な態度で受講し、必ず、質問・意見が出た。幅広い種々の角度からの質問や意見に講師も詳しく答え、授業が盛り上がった。父母のあるいは祖父母の世代の人たちのこのような姿勢は学生たちに刺激を与え、またそれらの世代の人が世の中のさまざまな問題についてどのような考えを持っているかを知るよい機会となった。

表12 今、取り組んでみたいもの、学んでみたいもの(3つまで回答可)(社会人)

	平成13年(%)	平成14年(%)
年齢や体力に応じた適切な運動	57 (33.0)	29 (32.6)
海外旅行や留学生を迎えるのに必要な英会話	37 (21.4)	20 (22.5)
コンピュータやワープロで文書作成	31 (17.9)	16 (18.0)
日本の古典作品をじっくり読む	18 (10.4)	10 (11.2)
フランス語、中国語など英語以外の語学	13 ( 7.5)	8 ( 9.0)
インターネットでショッピング	9 ( 5.2)	1 ( 1.1)
その他	8 ( 4.6)	5 ( 5.6)
延べ回答数	173	89

一方、学生は大勢の前で質問をするのは非常に勇気のいることのように、ほとんど質問が出なかった。最近の受身的で無気力に見える学生に対しては、社会人の方からもっと積極的になって欲しいとの感想が聞かれた。しかし、社会人にとって、若い学生と机を並べることにより、今時の学生の気質や態度、ファッション、ことば遣いなどを知るよい機会にもなり、若者理解に役立つとの声も聞かれた。

社会人の参加は学生にとっても社会人にとっても、家庭の中でのコミュニケーションが激減している現在、「総合基礎科目」が異世代間コミュニケーションの場、相互理解の場を提供しているといえよう。

なお10回中7回以上の出席の人には修了証書を贈り、公開授業への積極的参加に対し敬意を表した。

## VII. 考 察

### 1. 平成13・14年度について

21世紀を迎えて私たちの生活にとって重要な、また身近な問題を取りあげて進めてきた。現在の社会の政治的・社会的状況や、環境の状況の中で生活する私たちが、世界の平和、生活の豊かさを願い、環境の整備を願う中で、人間関係、家庭のあり方、そして、生き方を重要な問題として関心を持っていることが浮き彫りになった。それらに対して学生の世代と社会人の世代で若干の違いがあることもわかった。学生は心の拠りどころとして友人を、社会人は何より家族をあげていることが特徴であった。また、社会人がこれからの生活において、介護の問題に関心を寄せ、社会保障の先細りに不安を抱いていることも明らかとなった。このような問題に対して、講師の講義が何らかのヒントになれば幸いである。

学生の受講後の認識・態度の変化の結果（表11-1.11-2）で、女性の生き方について、障害を持った人への認識、犯罪者の行動分析、バーチャルリアリティについてなどいくつかの項目に認識・態度の変化が見られているのは「総合基礎科目」の講義の効果と考えてよいであろう。

### 2. 「総合基礎科目」全体を通じて

平成5年度より実施し、9年度から社会人参加の公開授業としてきたわけであるが、この科目の一つの目的である＜一つの大きなテーマについて人文科学・社会科学・自然科学の視点から、またそれらの領域を超えた視点で論ずる＞は、かなり成果をあげてきている、といえる。例えば、「自然科学の分野は苦手に関心が無かったが関心を持った、面白かった」、「アニメーショ

ンがこんなに幅広く使われているとは思わなかった」,「バーチャルリアリティがこんなところまで使われているとは知らなかった」,「生活の物理的環境が心理的な心の問題にも関わることがわかった」,などの感想,意見が多く見られた。

また,女性の生き方について,学生たちは非常に強い関心を持ち,「参考にしたい」,「私も頑張ろうと勇気が湧いてきた」などの感想が述べられていた。

社会人の参加の意義については上述の通りで,そのほか,学生は「社会人の人たちがこんなに熱心とは驚きであった」と述べ,社会人は「社会人だけの講座ではなく,学生と共に受講することが,自分たちも若くなった気分で聞けていい」と述べていた。

平成6年度,「家族」問題をテーマにした折,シリーズ終了後,終末医療,いわゆるホスピスの見学は何班かに分かれて出かけたことがある。その施設の方が講師として話をしてくださった後で,講義後に見学を実施するのは学生たちに非常によい体験となった。

平成10年度には社会人と学生たちのコミュニケーションの場を授業外に持つ企画をたて,2年次生の或るゼミのクラス(約10名)に数名の社会人の方に加わっていただき,<当世若者気質>について討論を行なったことがある。社会人も学生も活発に意見を述べ合って相互理解ができた。

このように受講後の見学や社会人と学生の話し合いの機会をもっと作れば総合基礎科目の効果はさらに高まったであろうと思い,諸事情で実現しなかったことを残念に思っている。

社会人の参加が増えることは喜ばしいことである反面,社会人の層が広がることにより,もっと突っ込んだ,深い高度な内容をという要望が出てくる。これについては,短大1年次のしかも前期の時点での講義であることを了解していただくように努めている。

シリーズ直後では,話を聞いて自分も前向きに生きよう,いろいろのことに関心を持とう,と思っけていても,授業が終わってしばらくするとそのままになってしまう学生が大半である。しかし,私たち担当者としては,すぐに効果は現れなくとも,社会に出てから,あるいは結婚後,また育児に携わるようになってから,こんなことを総合基礎科目で聞いた,と思い出して参考にしてもらうことを願うものであり,期待するものである。

将来の生き方として,何らかの形で仕事にずっと携わっていきたいとする学生が増えつつあるのは喜ばしいことであると私たちは考えている。



## VIII. 終わりに

平成5年度より開講して10年、10年の節目を迎えて「総合基礎科目」は今年度で終わりとなる。その間種々の専門、職業、そして生き方も異なる講師をお迎えして、専門分野の話や自分の生き方について分かりやすく話していただいた。それらの講師の方々にここでお礼を述べたい。また、社会人の方からは、ぜひこのような形態の授業を再開して欲しいとの要望が強く出ているのは担当者として有難く思っており、積極的にご参加くださり、ご協力いただいたことに感謝の意を表したいと思う。

### ●注および引用・参考文献

- 1) 永田照子, 小川真理子「一般教育における『総合基礎科目』の役割」, 飯山論叢, 第15巻第1号, pp.44~62, 1998年
- 2) 永田照子, 小川真理子「一般教育における『総合基礎科目』の役割—その2—」, 飯山論叢, 第16巻第1号, pp.88~105, 1999年
- 3) 永田照子, 小川真理子「一般教育における『総合基礎科目』の役割—その3—」, 飯山論叢, 第17巻第1号, pp.40~61, 2000年
- 4) 永田照子, 鈴木万里, 小川真理子「一般教育における『総合基礎科目』の役割—その4 社会人参加の意義—」, 飯山論叢, 第18巻1号, pp.23~49, 2001年
- 5) 本誌別掲「『基礎ゼミ』の教育効的果について」参照
- 6) 永田照子, 小川真理子「一般・教養教育における『総合基礎科目』の役割」, 大学教育学会誌, 第22巻第2号, pp.182~196, 2000年11月

〔付表1〕受講前（学生用）

2001年 総合基礎「新しい世紀を生きる」アンケート

1. あなたがこのシリーズで関心をもっているものはどれですか。関心をもっている順番に1、2、3と3つ番号をつけてください（講師については別紙参照のこと）。

- 現代に問いかける古典
- 親子間のコミュニケーション
- レンズの向こうの仲間たち
- 消費生活と税金
- 介護と家族
- 心と物と化学—だから学問は面白い
- 卒業後10年の私の歩みとこれから
- 現代の音楽事情
- アニメ制作の現場
- テレビ・インターネット・情報化社会

2. 21世紀について、希望を持っていることがありますか。下記の項目にあてはまるものがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- ①宇宙への進出      ②科学技術の発達      ③開発途上国の発展      ④環境の整備
- ⑤女性の地位の向上      ⑥生活の豊かさ      ⑦国際交流の発展      ⑧遺伝子治療
- ⑨世界の平和      ⑩その他（具体的に      ）

3. 21世紀について、不安を持っていることがありますか。下記の項目にあてはまるものがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- ①戦争      ②人口の増加      ③エイズなど伝染病のまんえん      ④税金の負担増
- ⑤エネルギーの不足      ⑥経済の行き詰まり      ⑦地震・災害      ⑧環境破壊
- ⑨社会保障の先細り      ⑩その他（具体的に      ）

4. 社会問題で、関心を持っていることがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- ①異文化の交流      ②景気      ③ホームレス      ④難民      ⑤経済摩擦
- ⑥ファッション      ⑦少子化現象      ⑧セクハラ      ⑨引きこもり
- ⑩幼児虐待      ⑪介護保険      ⑫その他（具体的に      ）

5. 今後の情報社会で、興味を持っているものがあれば、○をつけてください（いくつでも）。

- ①インターネット      ②パソコン通信      ③コンピュータによる作曲・演奏
- ④コンピュータで絵を描く      ⑤電子出版（編集・出版など）      ⑥電子マネー
- ⑦動画（アニメ・映画など）の作成      ⑧テレビ電話
- ⑨その他（具体的に      ）

氏名

①フルタイムで仕事をしている                  ②パートで仕事をしている  
③ボランティアなどで活躍している              ④生涯学習などを行っている  
⑤趣味を楽しんでいる                  ⑥家事中心である  
⑦その他（具体的に                                  ）

- ①結婚したら仕事はずっと辞める。
- ②結婚後、出産したら仕事はずっと辞める。
- ③結婚後、出産したら仕事はいったん辞めるが、育児から手が離れたら、再びフルタイムの仕事につきたい。
- ④結婚後、出産したら仕事はいったん辞めるが、育児から手が離れたら、パートタイムの仕事につきたい。
- ⑤結婚・出産に関わりなく仕事にはつきたくない。
- ⑥結婚・出産に関わりなく仕事を続ける。
- ⑦その他（具体的に

①お金      ②時間      ③家族      ④恋人      ⑤友人      ⑥先生      ⑦仕事  
⑧趣味      ⑨信仰      ⑩ボランティア      ⑪勉強      ⑫読書      ⑬スポーツ  
⑭音楽      ⑮美術工芸      ⑯その他（具体的に      ）

— 63 —

〔付表2〕受講前（学生用）

2002年 総合基礎「人と暮らしと環境」アンケート

1. あなたがこのシリーズで関心をもっているものはどれですか。関心をもっている順番に1、2、3と3つ番号をつけてください（講師については別紙参照のこと）。

- 上地と伝承・文学・歴史－將軍実朝・隆寛律師のことなど－
- 化粧文化から見た日本人の美意識
- ダイエットとからだの健康
- 卒業後の私の歩み－勤続15年目の話（就職、結婚、出産と育児）－
- 子どもの健やかな育ちのために－児童虐待とその援助
- 情報社会を読む－通信業界を中心に－
- 犯罪者の行動分析とプロファイリング
- 仕事も結婚も、そして楽しみも－肩の力を抜いて、自然体で生きる女性の時代－
- 遺伝子に対する正確な理解は生命観をどのように変えるか
- 計算機が作った世界を体験する－バーチャルリアリティ－

2. 21世紀について、希望を持っていることがありますか。下記の項目にあてはまるものがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- ①宇宙への進出      ②科学技術の発達      ③開発途上国の発展      ④環境の整備
- ⑤女性の地位の向上      ⑥生活の豊かさ      ⑦国際交流の発展      ⑧遺伝子治療
- ⑨世界の平和      ⑩その他（具体的に      ）

3. 21世紀について、不安を持っていることがありますか。下記の項目にあてはまるものがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- ①戦争      ②人口の増加      ③エイズなど伝染病のまんえん      ④税金の負担増
- ⑤エネルギーの不足      ⑥経済の行き詰まり      ⑦地震・災害      ⑧環境破壊
- ⑨社会保障の先細り      ⑩テロ      ⑪食品の安全性      ⑫犯罪の凶悪化
- ⑬その他（具体的に      ）

4. 社会問題で、関心を持っていることがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- ①異文化の交流      ②景気      ③ホームレス      ④難民      ⑤経済摩擦
- ⑥ファッション      ⑦少子化現象      ⑧セクハラ      ⑨引きこもり
- ⑩児童虐待      ⑪介護保険      ⑫遺伝子操作      ⑬摂食障害
- ⑭その他（具体的に      ）

5. 今後の情報社会で、興味を持っているものがあれば、○をつけてください（いくつでも）。

- ①インターネット      ②パソコン通信      ③コンピュータによる作曲・演奏
- ④コンピュータで絵を描く      ⑤電子出版（編集・出版など）      ⑥電子マネー
- ⑦動画（アニメ・映画など）の作成      ⑧テレビ電話      ⑨バーチャルリアリティ
- ⑩携帯電話      ⑪その他（具体的に      ）

氏名

①フルタイムで仕事をしている      ②パートで仕事をしている  
③ボランティアなどで活動している      ④生涯学習などを行っている  
⑤趣味を楽しんでいる      ⑥家事中心である  
⑦その他（具体的に ）

- ①結婚したら仕事はずっと辞める。
- ②結婚後、出産したら仕事はずっと辞める。
- ③結婚後、出産したら仕事はいったん辞めるが、育児から手が離れたら、再びフルタイムの仕事につきたい。
- ④結婚後、出産したら仕事はいったん辞めるが、育児から手が離れたら、パートタイムの仕事につきたい。
- ⑤結婚・出産に関わりなく仕事にはつきたくない。
- ⑥結婚・出産に関わりなく仕事を続ける。
- ⑦その他（具体的に\_\_\_\_\_）

① お金      ② 時間      ③ 家族      ④ 恋人      ⑤ 友人      ⑥ 先生      ⑦ 仕事  
⑧ 趣味      ⑨ 信仰      ⑩ ボランティア      ⑪ 勉強      ⑫ 読書      ⑬ スポーツ  
⑭ 音楽      ⑮ 美術工芸      ⑯ その他（具体的に      ）

— 65 —

〔付表3〕受講前（社会人用）

2001年 総合基礎「新しい世紀を生きる」アンケート

1. あなたがこのシリーズで関心をもっているものはどれですか。関心をもっている順番に1、2、3と3つ番号をつけてください（講師については別紙参照のこと）。

- 現代に問いかける古典
- 親子間のコミュニケーション
- レンズの向こうの仲間たち
- 消費生活と税金
- 介護と家族
- 心と物と化学—だから学問は面白い
- 卒業後10年の私の歩みとこれから
- 現代の音楽事情
- アニメ制作の現場
- テレビ・インターネット・情報化社会

2. 21世紀について、希望を持っていることがありますか。下記の項目にあてはまるものがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- ①宇宙への進出      ②科学技術の発達      ③開発途上国の発展      ④環境の整備
- ⑤女性の地位の向上      ⑥生活の豊かさ      ⑦国際交流の発展      ⑧遺伝子治療
- ⑨世界の平和      ⑩その他（具体的に      ）

3. 21世紀について、不安を持っていることがありますか。下記の項目にあてはまるものがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- ①戦争      ②人口の増加      ③エイズなど伝染病のまんえん      ④税金の負担増
- ⑤エネルギーの不足      ⑥経済の行き詰まり      ⑦地震・災害      ⑧環境破壊
- ⑨社会保障の先細り      ⑩その他（具体的に      ）

4. 社会問題で、関心を持っていることがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- ①異文化の交流      ②景気      ③ホームレス      ④難民      ⑤経済摩擦
- ⑥セクハラ      ⑦少子化現象      ⑧ファッション      ⑨引きこもり
- ⑩幼児虐待      ⑪介護保険      ⑫その他（具体的に      ）

5. 今後の情報社会で、興味を持っているものがあれば、○をつけてください（いくつでも）。

- ①インターネット      ②パソコン通信      ③コンピュータによる作曲・演奏
- ④コンピュータで絵を描く      ⑤電子出版（編集・出版など）      ⑥電子マネー
- ⑦動画（アニメ・映画など）の作成      ⑧テレビ電話
- ⑨その他（具体的に      ）

6. あなたの心を豊かにしてくれていると思うものは何だと思いますか。下記の項目にあてはまるものがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- ①お金      ②時間      ③家族      ④恋人      ⑤友人      ⑥先生      ⑦仕事  
⑧趣味      ⑨信仰      ⑩ボランティア      ⑪勉学      ⑫読書      ⑬スポーツ  
⑭音楽      ⑮美術工芸      ⑯その他（具体的に      ）

7. 今、取り組んでみたいもの、学んでみたいものがありますか。下記の項目の中にあてはまるものがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- 1) インターネットでショッピング  
2) コンピュータやワープロで文書作成  
3) 日本の古典作品をじっくり読む（作品名      ）  
4) 海外旅行や留学生を迎えるのに必要な英会話  
5) 年齢や体力に応じた適切な運動  
6) フランス語、中国語など英語以外の語学  
7) その他（具体的に      ）

8. 今後、どのような生き方をしたいと思っていますか。自由にお書きください。  
（書ききれない時は裏面にもどうぞ）

9. この講座をどのようにしてお知りになりましたか。お書きください。

\* 次の項目について該当するところに○をつけてください。

性別      男      女

年齢      20代      30代      40代      50代      60代      70歳以上

〔付表4〕受講前（社会人用）

2002年 総合基礎「人と暮らしと環境」アンケート

1. あなたがこのシリーズで関心をもっているものはどれですか。関心をもっている順番に1、2、3と3つ番号をつけてください（講師については別紙参照のこと）。

- 土地と伝承・文学・歴史－將軍実朝・隆寛律師のことなど－
- 化粧文化から見た日本人の美意識
- ダイエットとからだの健康
- 卒業後の私の歩み－勤続15年目の話（就職、結婚、出産と育児）－
- 子どもの健やかな育ちのために－児童虐待とその援助－
- 情報社会を読む－通信業界を中心に
- 犯罪者の行動分析とプロファイリング
- 仕事も結婚も、そして楽しみも－肩の力を抜いて、自然体で生きる女性の時代－
- 遺伝子に対する正確な理解は生命観をどのように変えるか
- 計算機が作った世界を体験する－バーチャルリアリティー

2. 21世紀について、希望を持っていることがありますか。下記の項目にあてはまるものがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- ①宇宙への進出      ②科学技術の発達      ③開発途上国の発展      ④環境の整備
- ⑤女性の地位の向上      ⑥生活の豊かさ      ⑦国際交流の発展      ⑧遺伝子治療
- ⑨世界の平和      ⑩その他（具体的に      ）

3. 21世紀について、不安を持っていることがありますか。下記の項目にあてはまるものがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- ①戦争      ②人口の増加      ③エイズなど伝染病のまんえん      ④税金の負担増
- ⑤エネルギーの不足      ⑥経済の行き詰まり      ⑦地震・災害      ⑧環境破壊
- ⑨社会保障の先細り      ⑩テロ      ⑪食品の安全性      ⑫犯罪の凶悪化
- ⑬その他（具体的に      ）

4. 社会問題で、関心を持っていることがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- ①異文化の交流      ②景気      ③ホームレス      ④難民      ⑤経済摩擦
- ⑥セクハラ      ⑦少子化現象      ⑧化粧・ファッション      ⑨引きこもり
- ⑩児童虐待      ⑪介護保険      ⑫遺伝子操作      ⑬摂食障害
- ⑭その他（具体的に      ）

5. 今後の情報社会で、興味を持っているものがあれば、○をつけてください（いくつでも）。

- ①インターネット      ②パソコン通信      ③コンピュータによる作曲・演奏
- ④コンピュータで絵を描く      ⑤電子出版（編集・出版など）      ⑥電子マネー
- ⑦動画（アニメ・映画など）の作成      ⑧テレビ電話      ⑨バーチャルリアリティー
- ⑩携帯電話      ⑪その他（具体的に      ）



6. あなたの心を豊かにしてくれていると思うものは何だと思いますか。下記の項目にあてはまるものがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- ①お金      ②時間      ③家族      ④恋人      ⑤友人      ⑥先生      ⑦仕事  
⑧趣味      ⑨信仰      ⑩ボランティア      ⑪勉学      ⑫読書      ⑬スポーツ  
⑭音楽      ⑮美術工芸      ⑯その他（具体的に      ）

7. 今、取り組んでみたいもの、学んでみたいものがありますか。下記の項目の中にあてはまるものがあれば、○をつけてください（3つまで）。

- 1) インターネットでショッピング  
2) コンピュータやワープロで文書作成  
3) 日本の古典作品をしっくり読む（作品名      ）  
4) 海外旅行や留学生を迎えるのに必要な英会話  
5) 年齢や体力に応じた適切な運動  
6) フランス語、中国語など英語以外の語学  
7) その他（具体的に      ）

8. 今後、どのような生き方をしたいと思っていますか。自由にお書きください。  
（書ききれない時は裏面にもどうぞ）

9. この講座をどのようにしてお知りになりましたか。お書きください。

\* 次の項目について該当するところに○をつけてください。

性別      男      女

年齢      20代      30代      40代      50代      60代      70歳以上

〔付表5〕受講後（学生用）

2001年総合基礎「新しい世紀を生きる」終了時アンケート

1. このシリーズであなたが関心をもったテーマはなんですか。次の中から関心の高かった順に1、2、3と3つ番号をつけてください。

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| ①現代に問いかける古典       | ②親子間のコミュニケーション     |
| ③レンズの向こうの仲間たち     | ④消費生活と税金           |
| ⑤介護と家族            | ⑥心と物と化学ーだから学問は面白い  |
| ⑦卒業後10年の私の歩みとこれから | ⑧現代の音楽事情           |
| ⑨アニメ制作の現場         | ⑩テレビ・インターネット・情報化社会 |

2. このシリーズを受講して、あなたの認識・態度に何か変化がありましたか、次のこと

らについてそれぞれ該当する

ところに○をつけて、内容を簡単に  
述べてください。

（以前の考え、今はこうであるなど）

	変	ど	変
	わ	いち	わ
	ら	えら	わ
	な	など	っ
	い	いも	た
①古典文学に対する考え方	-----		
(	)		
②家族のあり方	-----		
(	)		
③女性の働く現場について	-----		
(	)		
④現代の音楽について	-----		
(	)		
⑤化学に対する考え方	-----		
(	)		
⑥税金に対する考え方	-----		
(	)		
⑦親子関係について	-----		
(	)		
⑧アニメ制作について	-----		
(	)		
⑨テレビのあり方について	-----		
(	)		
⑩障害を持った人への意識	-----		
(	)		
⑪情報化社会について	-----		
(	)		
⑫これからの生き方について	-----		
(	)		

年 組 学籍番号

氏名

3. これからの生活のなかで、あなたの心を豊かにしてくれると思うものは何だと思いますか。下記の項目の中にあてはまるものがあれば、○をつけてください（3つまで）

- ①お金      ②時間      ③家族      ④恋人      ⑤友人      ⑥先生      ⑦仕事  
⑧趣味      ⑨信仰      ⑩ボランティア      ⑪勉学      ⑫読書      ⑬スポーツ  
⑭音楽      ⑮美術工芸      ⑯その他（具体的に      ）

4. あなたは将来どのような生き方をしようと思っていますか、下記の項目の中からあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- ①結婚したら仕事はずっと辞める。  
②結婚後、出産したら仕事はずっと辞める。  
③結婚後、出産したら仕事はいったん辞めるが、育児から手が離れたら、再びフルタイムの仕事につきたい。  
④結婚後、出産したら仕事はいったん辞めるが、育児から手が離れたら、パートタイムの仕事につきたい。  
⑤結婚・出産に関わりなく仕事にはつきたくない。  
⑥結婚・出産に関わらず仕事を続ける。  
⑦その他（      ）

5. 現代社会であなたが一番重要だと考えていることは何ですか、1つ選んで○をつけてください。

- ①経済の動向      ②国際政治的問題（民族紛争、難民など）  
③環境の整備      ④情報化社会  
⑤異文化交流      ⑥家庭のあり方  
⑦エネルギー問題      ⑧食糧の自給、安全性  
⑨福祉      ⑩人間関係  
⑪心の癒し      ⑫その他（具体的に      ）

6. 今回は社会人の方の授業参加がありました。これについてどのような感想を持ちましたか。

7. 総合基礎科目の授業の感想を書いてください（紙面が足りないときは裏面へ）。

〔付表6〕受講後（学生用）

2002年総合基礎「人と暮らしと環境」終了時アンケート

1. このシリーズであなたが関心をもったテーマは何ですか。次の中から関心の高かった順に1、2、3と3つ番号をつけてください。

- ①土地と伝承・文学・歴史－将軍実朝・隆寛律師のことなど－
- ②化粧文化から見た日本人の美意識
- ③ダイエットとからだの健康
- ④卒業後の私の歩み－勤続15年目の話（就職、結婚、出産と育児）－
- ⑤子どもの健やかな育ちのために－児童虐待とその援助－
- ⑥情報社会を読む－通信業界を中心に－
- ⑦犯罪者の行動分析とプロファイリング
- ⑧仕事も結婚も、そして楽しみも－肩の力を抜いて、自然体で生きる女性の時代－
- ⑨遺伝子に対する正確な理解は生命観をどのように変えるか
- ⑩計算機が作った世界を体験する－バーチャルリアリティ－

2. このシリーズを受講して、あなたの認識・態度に何か変化がありましたか、次のこと

がらについてそれぞれ該当する 変 化 度  
 ところに○をつけて、内容を簡単に わ いち 変  
 述べてください。 ら えら わ  
 （以前の考え、今はこうであるなど） な など っ  
 い いも た

- ①土地と伝承・文学・歴史に  
 対する考え方 ( )
- ②化粧文化と美意識について ( )
- ③女性の働く現場について ( )
- ④ダイエットに対する考え方 ( )
- ⑤児童虐待について ( )
- ⑥親子関係について ( )
- ⑦女性の生き方について ( )
- ⑧生命観について ( )
- ⑨遺伝子操作について ( )
- ⑩情報社会についての考え方 ( )

- ⑩犯罪者の行動分析について ( )
- ⑪バーチャルリアリティについて ( )

3. 暮らしの中でなかで、あなたが最も大切にしているものは何ですか。下記の項目の中にあてはまるものがあれば、○をつけてください（3つまで）

- ①お金      ②時間      ③家族      ④恋人      ⑤友人      ⑥先生      ⑦仕事  
 ⑧趣味      ⑨信仰      ⑩ボランティア      ⑪勉学      ⑫読書      ⑬スポーツ  
 ⑭音楽      ⑮美術工芸      ⑯その他（具体的に )

4. あなたは将来どのような生き方をしようと思っっていますか、下記の項目の中からあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- ①結婚したら仕事はずっと辞める。  
 ②結婚後、出産したら仕事はずっと辞める。  
 ③結婚後、出産したら仕事はいったん辞めるが、育児から手が離れたら、再びフルタイムの仕事につきたい。  
 ④結婚後、出産したら仕事はいったん辞めるが、育児から手が離れたら、パートタイムの仕事につきたい。  
 ⑤結婚・出産に関わりなく仕事にはつきたくない。  
 ⑥結婚・出産に関わらず仕事を続ける。  
 ⑦その他 ( )

5. 現代社会であなたが一番重要だと考えていることは何ですか、1つ選んで○をつけてください。

- ①経済の動向      ②国際政治的問題（民族紛争、難民など）  
 ③環境の整備      ④情報化社会  
 ⑤異文化交流      ⑥家庭のあり方  
 ⑦エネルギー問題      ⑧食糧の自給、安全性  
 ⑨福祉      ⑩人間関係  
 ⑪心の癒し      ⑫その他（具体的に )

6. 今回は社会人の方の授業参加がありました。これについてどのような感想を持ちましたか。

7. 「総合基礎」の授業の感想を書いてください（裏面に）。

年      組      学籍番号      氏名

〔付表7〕受講後（社会人用）

2001年総合基礎科目「新しい世紀を生きる」終了時アンケート

1. このシリーズで関心をお持ちになったテーマは何ですか。次の中から関心の高かった順に1、2、3と3つ番号をおつけください。

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| ①現代に問いかける古典       | ②親子間のコミュニケーション     |
| ③レンズの向こうの仲間たち     | ④消費生活と税金           |
| ⑤介護と家族            | ⑥心と物と化学—だから学問は面白い  |
| ⑦卒業後10年の私の歩みとこれから | ⑧現代の音楽事情           |
| ⑨アニメ制作の現場         | ⑩テレビ・インターネット・情報化社会 |

それぞれ選んだ理由・

1)

2)

3)

2 これからの生活のなかであなたの心を豊かにしてくれるものは何だと思われますか。

3 現代社会であなたがもっとも重要だとお考えのことは何ですか、○をおつけください（1つだけ）。

- |          |                     |
|----------|---------------------|
| ①経済の動向   | ②国際政治的問題（民族紛争、難民など） |
| ③環境の整備   | ④情報化社会              |
| ⑤異文化交流   | ⑥家庭のあり方             |
| ⑦エネルギー問題 | ⑧食糧の自給、安全性          |
| ⑨福祉      | ⑩人間関係               |
| ⑪心の癒し    | ⑫その他（具体的に           |

4. 今回のシリーズ全般についての感想をお書きください。

5. 今後ご希望のテーマ、講師などがあれば、お書きください。

6. 今回は学生と一緒に受講していただきましたが、そのことについてどのようにお考えでしょうか。

7. 一般社会人向けの講座について、どのようにお考えでしょうか。  
(回数、時期、時間帯、頻度、有料の場合いくらまで、その他)

8. 学生の態度はいかがだったでしょうか。

9. 本学にどのような印象をお持ちになりましたか。また、何か希望されることがあれば、お書きください。

\* 次の項目について該当するところに○をおつけください。

性別      男      女

年齢      20代          30代          40代          50代          60代          70歳以上

〔付表 8〕受講後（社会人用）

2002年総合基礎「人と暮らしと環境」終了時アンケート

1. このシリーズを受講されて関心をお持ちになったテーマは何ですか。次の中から関心の高かった順に1、2、3と3つ番号をおつけください。

- ①土地と伝承・文学・歴史－將軍実朝・隆寛律師のことなど－
- ②化粧文化から見た日本人の美意識
- ③ダイエットとからだの健康
- ④卒業後の私の歩み－勤続15年目の話（就職、結婚、出産と育児）－
- ⑤子どもの健やかな育ちのために－児童虐待とその援助－
- ⑥情報社会を読む－通信業界を中心に－
- ⑦犯罪者の行動分析とプロファイリング
- ⑧仕事も結婚も、そして楽しみも－肩の力を抜いて、自然体で生きる女性の時代－
- ⑨遺伝子に対する正確な理解は生命観をどのように変えるか
- ⑩計算機が作った世界を体験する－バーチャルリアリティ－

それぞれ選んだ理由：

1 )

2 )

3 )

2. これからの暮らしの中であなたが最も大切にしていこうと思われるものは何だとお考えですか。



3. 現代社会であなたがもっとも重要だとお考えのことは何ですか、○をおつけください  
(1つだけ)。

- |          |                     |
|----------|---------------------|
| ①経済の動向   | ②国際政治的問題(民族紛争、難民など) |
| ③環境の整備   | ④情報化社会              |
| ⑤異文化交流   | ⑥家庭のあり方             |
| ⑦エネルギー問題 | ⑧食糧の自給、安全性          |
| ⑨福祉      | ⑩人間関係               |
| ⑪心の癒し    | ⑫その他(具体的に )         |

4. 今回のシリーズ全般についての感想をお書きください。

5. 学生の態度はいかがだったでしょうか。

6. 本学にどのような印象をお持ちになりましたか。また、何か希望されることがおあり  
でしたら、お書きください。

\* 次の項目について該当するところに○をおつけください。

性別      男      女

年齢      20代      30代      40代      50代      60代      70歳以上